

2009年度 教育プログラム

主催：早稲田大学各務記念材料技術研究所

協賛：日本鑄造工学会、日本鑄造協会、素形材センター、日本鉄鋼協会

教育基礎講座

「新しい鑄造技術の展開： 5000年の歴史を踏まえて」連続講座

鑄造技術は5000年の歴史ある、鍛造と並んで最も古い金属加工法の1つといわれている。世の中には、先進国と発展途上国という区別の仕方がある。この定義にしたがえば、鑄造業は先進産業であり、新素材や半導体は発展途上産業と区別されるべきであろう。発展途上国の経済成長率が先進国よりも大きいのはBRICsの例を引くまでもない。発展途上産業も同様であろう。

鑄造業は先進産業であるがゆえに最近の成長率は低くなっている。しかし、本当にこの分野では技術革新がないのであろうか。いや、最近のCAD、CAM、IT技術などの進歩は鑄造技術に革新を興しつつある。この鑄造分野で、主に鑄型の造型の進歩を勉強する機会を作ってみました。新しい鑄造技術の勉強に参加されませんか。

■1 開講期間：2009年11月13日(金)、20日(金)、27日(金)計3回

■2 開講時間：13:30～16:45

■3 会場：早稲田大学各務記念材料技術研究所 講演室
(材料技術研究所キャンパス 42-1号館1階)

■4 プログラム

月日	講座題目	講師
11/13	・鑄造技術5000年の歴史と最近の発展 ～新しい分野への展開～	中江秀雄 材研
	・アルミニウム鑄造技術の展開 ～砂型からダイカストへ～	神尾彰彦 東工大名誉教授
11/20	・RP法の動向と鑄物へのかかわり	今村正人 新東工業
	・レーザ焼結によるRP	前田寿彦 NTTデータエンジニアリングシステムズ
11/27	・セミフルモールド法 ～鑄鉄からステンレス鑄鋼へ～	福田葉椰 木村鑄造所
	・新しい造型法：プレスキャストイング	岩崎順一 新東工業

■5 対象とする受講生：企業・大学などの技術者、研究者を優先させていただきます。

■6 定員：50名(先着順、定員になり次第締め切らせていただきます。)

■7 受講料(資料代を含む)：一般 5,000円、学生 無料

■8 申込手続：FAXまたはハガキで裏面要領にて下記宛お申し込みください。

■9 申込先：早稲田大学各務記念材料技術研究所 教育プログラム係
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 2-8-26

TEL 03-3203-4782 FAX 03-5286-3771 or 03-3205-1353

■10 申込締切日：10月30日(金)

申込用紙

早稲田大学材料技術研究所 教育プログラム係 行き
(FAX : 03-5286-3771 or 03-3205-1353)

(カナ)

受講申込者氏名 _____

(所属機関・部署名) _____

(所属機関住所) 〒 _____

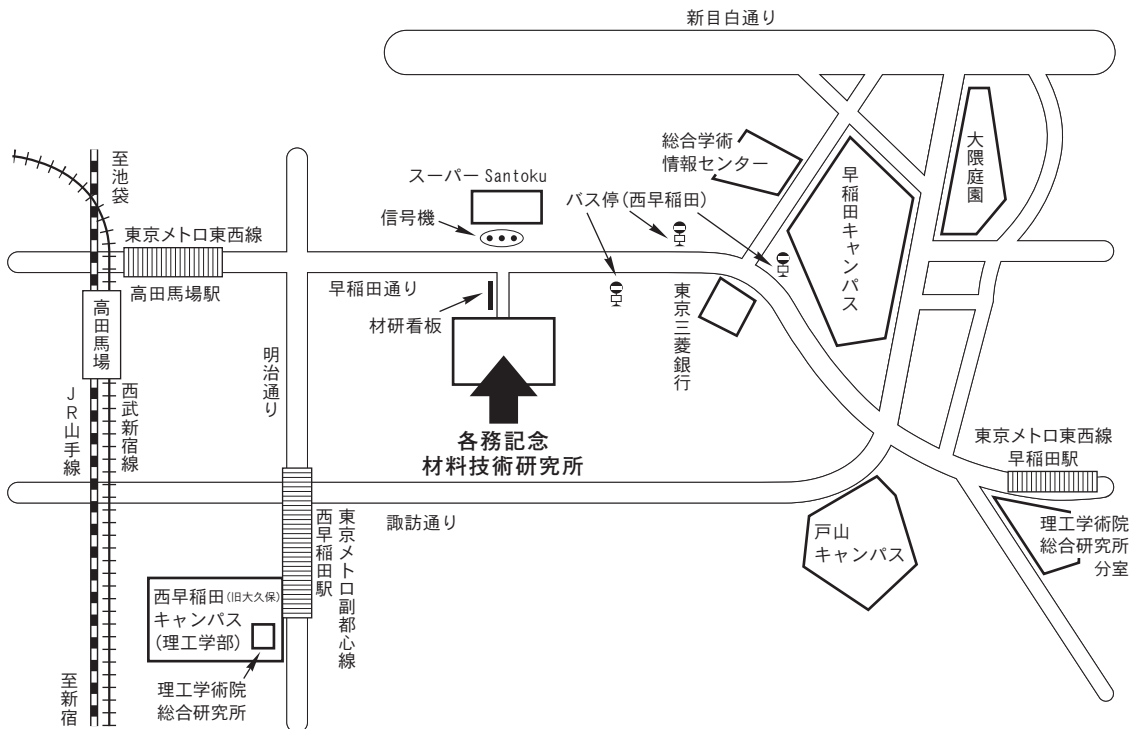
(tel番号) _____

(fax番号) _____

(E-mail) _____

(所属の学会・協会) _____

会場案内図



(高田馬場駅より徒歩20分、早稲田駅より徒歩10分)